

2024年度職員向けアンケート(放デイ) 回収 6名

NO	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫 意見	頂いたご意見	対応等
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	4	1	0	0		1階は「静」の活動を行い2階は活動に応じて使用、活動に応じ支援員を配置しています。
2	職員の配置数は適切であるか。	3	2	0	0		国の配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。経験豊富な保育士が揃い、質の高い発達支援を行っています。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	3	2	0	0		2階建ての施設のため、室内の階段を使用。階段の出入り口にドアを設置しており、お子様の指詰め等の防止のために使用しない時間は施設はしています。階段に手すりを設置しました。手すりを持って歩いて降りるように伝えています。転倒の恐れがあるお子様には常に職員と一緒に上り下りしています。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	5	0	0	0		支援員全員でのMTGを毎朝行っています。意見が出せるよう雰囲気作りも行っています。全員の意見をくみ取り発達支援に繋げています。
5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	4	1	0	0		支援員全員に周知し、継続できる事、改善していくことを明確にし、今後の発達支援に繋げていきます。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	0	0	0		自己評価の結果を支援員全員で話し合い、寄りよいサービス提供が出来る様に努力していきます。自己評価の結果や内容はホームページに掲載しています。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	0	0		第三者による外部評価については現在、検討中です。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	0	0	0		療育センターや中区地域部会、育成会の開催する研修の参加させてもらっています。社内研修や事業内研修も定期的に開催しています。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0	0		お子様や発達段階の課題や成長の過程を踏まえてしっかりアセスメントを行っています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	1	0	0		アセスメントシートを準備して聞き取りを行っています。さらに詳しく聞きたいことを話し合っフラッシュアップしています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	0		活動内容やお子様の様子で支援員全員で意見を出し合い、毎月の活動内容を考えています
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	0		活動プログラムを元に季節やお子様の様子で内容を充実できるように支援員全員で話し合っ決めていきます。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	4	1	0	0		活動スケジュールや活動内容を視覚支援(ホワイトボード、イラスト)で行いお子様たちのわかりやすく伝えています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	0	0		お子様ひとりずつ個別と集団で活動できるように設定しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	0	0	0		お子様の様子や家庭状況など毎朝必ず打ち合わせを行っています。活動内容や配慮の必要なお子様への付き添いなど毎日必ず確認しています。活動中も声を掛け合いフォローし合っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか。	5	0	0	0		送迎後の全員で振り返りを行っています。改善面も全員に周知し今後の支援に繋げています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	0		個人記録を毎日記入しています。きずいたことや成長したことなどは記録に残し、担当相談員にも共有しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	4	1	0	0		日々振り返りながら個別支援計画に変更点がないかを確認しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1	0	0		複数組み合わせをしながら行っています。地域との交流を実現させるか課題とします
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5	0	0	0		所長や児童発達支援管理責任者が出席しています。事業所で開催される場合は保育士複数参加しています。
21	学校との情報共有、連絡調整を適切におこなっているか。	2	3	0	0		学級担任と送迎時やお子様の様子などをお伝えし、連携をとって頂いています
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医などと連絡体制を整えているか。	4	1	0	0		現在は看護師が不在の為、受け入れは難しいです。契約時に記入して頂いたかかりつけ医や担当医師、服用している薬の種類を共有して頂いています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	0	0		関係機関との連携をとれるように努めています。相談支援員が担当者会議を開催して下さる場合は確実に出席しています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか。	4	1	0	0		現時点で移行支援を行ったお子様はいません。今後、どのように移行していくか検討していきます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	1	0	0		心身障害者福祉センターの方に来所してもらい活動内容を拡大しています。療育センターや児童相談所とも連携を図っています。併用している放デイとの連携を図ったり各種施設の研修会にも率先して参加しています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	4	1	0	0		近隣の児童館や公民館と今後連携を図って頂けるよう、ご挨拶のいく予定です。近所の公園で地域のお子様と一緒に鬼ごっこをしたりできるよう支援員が間に入り交流しています。
27	協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	0	0		中区地域部会やその他協議会も必ず出席するようにしています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	0	0		利用後には公式ラインでお子様の様子を保護者にお伝えしています。管理者や児童発達管理責任者が直接お会いしたり電話などで共有出来る用今後も努力していきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	4	1	0	0		ペアレント・トレーニング研修に参加予定です。今後の課題議題としています。
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	0	0		契約時に説明しています。支援内容は半年ごとに個別支援計画を更新し、その際に説明できるようにしていきます。負担額については請求書に加算内容を記載したものを毎月配布し、別途費用のかかる工作等は事前に連絡し承諾後の実行しています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1	0	0		直接話ができるように事業所の来所して頂いたり、送迎時に会えるように連絡をしています。お子様の日ごろの様子を細かくお伝えし、課題などを一緒に解決できるように努めています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	5	0	0	0		保護者会は今後も作る予定はないので、保護者会の活動はありません。親子イベントを開催し、保護者同士の交流も持てるようにしています。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2	0	0		苦情解決責任者お客様窓口について契約時に説明しています。苦情に限らずどんなことでも問い合わせが出来る信頼関係が構築できるよう今後も努力していきます。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や表示予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0	0		出席希望表と一緒に活動内容を記載した予定表を毎月配布しています。年間数回ですが会報を発行しています。SNSの発信もしています。
35	個人情報に十分注意しているか。	5	0	0	0		個人情報記載されたものは鍵付きキャビネットに保管して使用時以外施設はしています。書類などはシュレッダーにかけたり秘密文書として産廃業者の引き取ってもらっています。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	3	2	0	0		一日のスケジュールや活動内容をお子様を理解しやすいように視覚支援で伝えています。交友関係や活動内容の意見交換がしやすい環境設定を行っています。状況によっては支援員と1対1で話せるよう、場所の提供や時間も設けています。保護者には面談や送迎時にお子様の日ごろの様子を伝え、ご家庭の様子や保護者の意見なども聞かせて頂けるように努めています。
37	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に関わった事業運営を図っているか。	5	0	0	0		地域住民を招待しての行事は今まで行っていませんが、今年度は事業所で夏祭りを開催したこともあり、今後はそのような行事にお声がけさせてもらいたいと検討しています。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	0	0	0		様々なマニュアルを作成していますが保護者に周知出来ていませんでした。新年度に向けて周知させていただきます。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	0	0		月1回必ず避難訓練を行うようにしました。マニュアルを元に消防署や地域のスパーとも連携させていただき万が一の備えて訓練を行っています。マニュアル等も改良したり、更新して保護者にも周知出来るように努めます。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	0	0		広島市障害者虐待防止・権利擁護研修、中区地域部会の虐待防止研修に全員で参加しました。日々の支援の中で虐待案件がないか支援員同士で身体拘束に該当しないかなどを検討し事例が出ないよう努めています
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	0	0		身体拘束を行わなければならないお子様は今現在いません。必要に応じて拘束しなければならない場合は複数の支援員で対応し拘束にならないように対応できるよう検討しています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	0	0		食物アレルギーのお子様にご提供することのないように表にまとめて確認したり留意しながら買い出しをしています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	0	0	0		ヒヤリハットを感じることはないように努力していますがヒヤリハットを感じた際は書類を作成し支援員全員に共有して再発防止に努めています